

大野市と仏の行政組織

水事業連携へ覚書

東京で署名



大野市は15日、水に関
する先進的な事業を展
開しているフランスの
広域行政組織「エロー・
地中海都市圏共同体」と
水分野で協力するため
の覚書を締結した。環境
ス大使館のローラン・ピ

ック駐日大使、とかしき
なおみ環境副大臣ら9人
が出席。覚書を結んだ後
岡田市長は「地球を未永
く守り、よりよい環境を
次世代に残したい」とあ
いさつした。

エロー共同体の代表を
務めるフランス・アグド
市のジル・デトル市長は
「水を守ることは人類を
守ること。ほかの国や自
治体が続くことを願う」
と期待を寄せた。

覚書は、仏日両政府間
で2015年に締結した
「低炭素で環境に優しい
社会を構築するための二

水分野での協力に関す
る覚書を締結し笑顔を見
せる岡田市長（右から2
人目）と仏国アグド市
のデトル市長（同3人目）
15日、環境省

国間連携に関する協力覚
書」に基づいたもので、
都市レベルで協力関係を
結んだのは初めて。
今後、定期的に会合を
持ちそれぞれのノウハ

ウを交換したり、世界で
起きている水不足など
の問題解決に向け連携
した取り組みを行ったり
する予定。
(五十嵐靖尚)